

県産木材の利用促進に関する実施状況について

1 要旨・目的

平成30年10月9日に公布・施行された「広島県県産木材利用促進条例」に基づき、県産木材の利用促進に関する取組を進めており、令和3年度の実施状況についてとりまとめを行った。

2 概要

(1) 実施状況

ア 公共施設等における利用促進

(ア) 公共建築物の木造化・木質化

県営事業については、木造化、木質化率ともに100%であった。

区分	対象件数	木造・木質 件数	木造・木質化率	木材利用量	うち県産材
木造化	6	6	100%	359 m ³	202 m ³
木質化	5	5	100%	144 m ³	34 m ³

市町営事業については、木造化率50%、木質化率100%であった。

区分	対象件数	木造・木質 件数	木造・木質化率	木材利用量	うち県産材
木造化	10	5	50%	489 m ³	270 m ³
木質化	38	38	100%	1,601 m ³	518 m ³

注) 木造化の対象件数は、3階建て以下で延床面積3,000 m²以下の建築物（求められる機能等から木造化が困難なものを除く）を対象とする。木質化の対象件数は、木造以外の建築物（求められる機能等から内装施工がないものなど除く）を対象とする。



県立広島叡智学園寮（木造化）



福山市立戸手小学校校舎（木質化）

(イ) 公共土木工事等での木材利用

治山事業及び林道事業等における工作物及び仮設資材等に県産材を利用した。

取組名	取組内容	木材利用量	うち県産材
公共土木工事での県産材の利用	治山事業及び林道事業等において、筋工・木柵工等の工作物や、工事看板等の仮設資材に県産材を利用した。	458 m ³	457 m ³

(ウ) 備品等での木材利用

県庁舎等における備品に県産材製品を利用した。

取組名	取組内容	県産材利用量
備品での県産材製品の導入	県庁舎の耐震改修に併せて、県産材を天板に用いた机やキャビネット等を導入	机 1,299 台, キャビネット 589 台, 棚等 162 台
	県議会の委員会室等において、県産材を使用した椅子や机等を導入	机 64 台, 椅子・ソファ 256 脚, テーブル 40 台, パーテーション 8 組



県庁舎執務机



県議会委員会室協議椅子

イ 公共施設以外の建築物における利用促進

木造住宅に県産材を供給する取組を支援するとともに、店舗や事務所等の非住宅建築物への県産材利用の促進に取り組んだ。

取組名	取組内容	県産材利用量
県産材消費拡大支援事業の実施	住宅分野等に県産材を利用する取組への助成	25,936 m ³

ウ 新たな用途の開発と販路の拡大

県産材の高付加価値利用につながる新たな用途開発や販路拡大の取組を支援した。

取組名	取組内容	場所
首都圏における木製品の展示を実施	東京都が主催する、国産材製品の展示商談会「WOOD コレクション 2022」に建材、家具等の県産材製品を出展 ○期間：令和 4 年 1 月 18 日～2 月 15 日	Web 開催
	都内の広島県アンテナショップにおいて食器や什器などの県産材製品を販売 ○期間：令和 3 年 10 月 1 日～11 月 30 日	ひろしまブランドショップ「TAU」

エ 木質バイオマスの利活用の促進

地域内で完結する小規模な木質バイオマスの熱利用の取組を支援した。

取組名	取組内容	場所
ひろしまの森づくり事業	里山林の木質バイオマス活用に取り組む団体に薪割機の導入を支援	福山市
里山バイオマス利用促進事業	地域が一体となって里山の未利用材をバイオマス燃料として活用するための組織づくりなどの取組を支援	三次市, 庄原市, 東広島市, 安芸高田市

オ 普及啓発

木材の良さや利用の意義を学ぶ木育活動や、木材利用に関するコンクールへの応募の働きかけを行い、県民等への県産材利用の機運醸成に取り組んだ。

区分	取組名	取組内容	場所
木育の推進	木育イベントの開催	子どもや子育て世代等を対象とした屋内外での木育体験活動を支援し、広島市他5市2町において25回実施され、延べ2,864名が参加	広島市他5市2町
県産材に関する情報発信	「ウッドデザイン賞2021」に参加【主催：ウッドデザイン賞運営事務局】	木の良さや価値を再発見させる製品や取組について表彰する「ウッドデザイン賞」への応募を広く働きかけ、県内から2点が受賞	
	木材利用優良施設コンクールに参加【主催：木材利用推進中央協議会】	地域材を有効に利用して整備された建築物等について表彰する「木材利用優良施設コンクール」への応募を広く働きかけ、県内から「出雲大社広島分祠神楽殿（府中町）」が優秀賞を受賞	



県産ヒノキを利用した子ども用椅子・テーブル（ウッドデザイン賞）



出雲大社広島分祠神楽殿（府中町）（木材利用優良施設コンクール）

カ 人材育成

県内の建築士が中心となり、平成28年7月に森林林業・木材産業等の関係者により設立した「ひろしま木造建築協議会」と連携して、木造で設計が提案できる人材の育成に取り組んだ。

取組名	取組内容	場所
木造建築セミナー	木造化を提案できる建築士を育成するためのセミナーを開催 ○期日：令和3年8月31日～令和3年11月11日 ○参加者：33名	Web開催，広島市，三次市，北広島町
木造建築スクール	木造建築の担い手となる学生に、県産材利用の意義や、木材の特徴、木造設計の基礎などについて学ぶ機会を提供 ○期日：令和3年7月17日～令和3年9月26日 ○参加者：48名	Web開催，広島大学，広島工業大学，近畿大学
技術研修会	建築士を対象に、非住宅建築物の事例共有、木造の専門家との意見交換を実施 ○期日：令和4年1月17日 ○参加者：33名	Web開催

(2) 今後の対応

- 建築分野では、住宅での取組に加え、住宅以外の建築物での更なる木造化・木質化に向けて、新たに、建築士や施主に対する相談窓口を設置し、木造建築の事例や支援制度などの情報提供を行うとともに、専門家派遣による技術的な支援を行うなど、県産材の需要確保に取り組む。
- 市町が関わる建築物については、引き続き、木造化・木質化の促進に向けて、コスト削減や木材調達をテーマとしたワークショップ等を開催し、木造建築に対する市町職員のスキルアップと意識改革を図る。
- 幅広い分野での県産材需要を創出するため、引き続き、木材条例に基づき設立した「ひろしま木づかい推進協議会」を中心に、新たに需要先の創出として県産材製品の開発や販路拡大に取り組む。